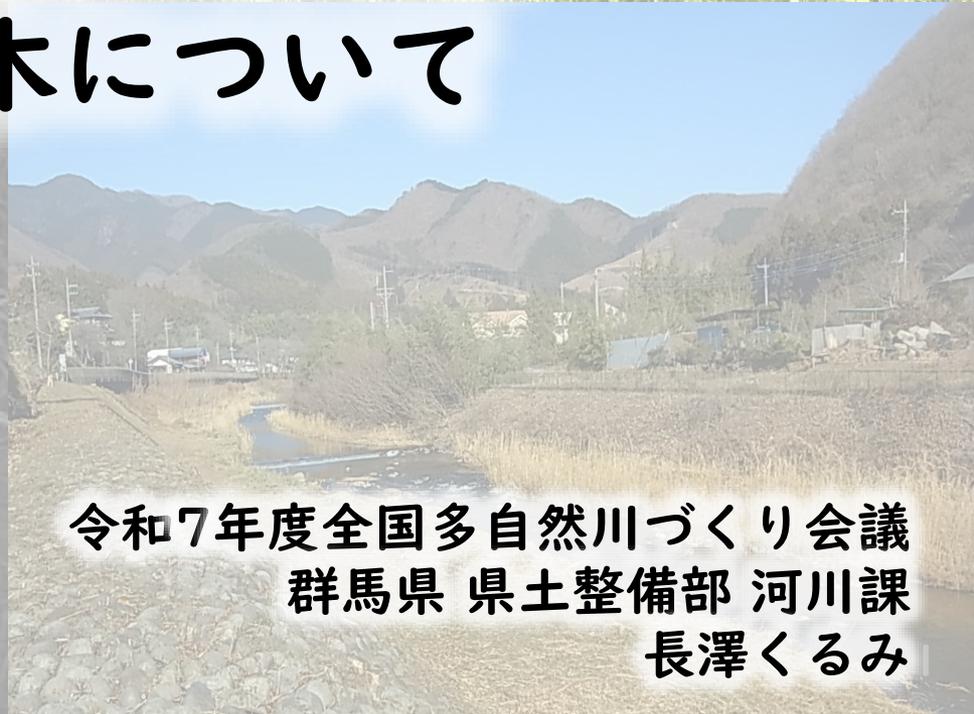


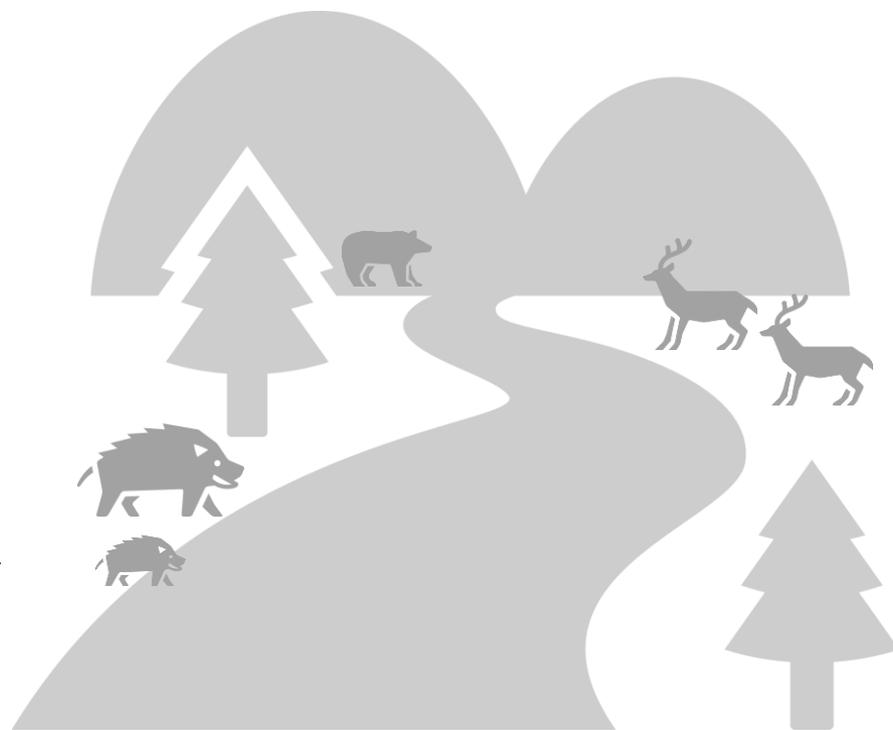


鳥獣被害対策のための 河川内伐木について



令和7年度全国多自然川づくり会議
群馬県 県土整備部 河川課
長澤くるみ

1. 取り組みの経緯
2. 鳥獣被害対策
3. 豚熱感染対策
4. 緩衝帯整備の効果
5. 今後の課題



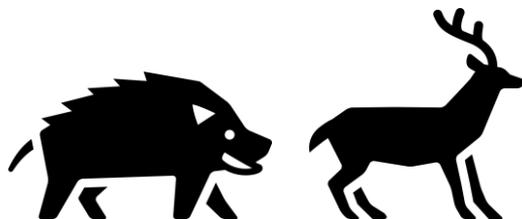
1. 取り組みの経緯

河川管理者として

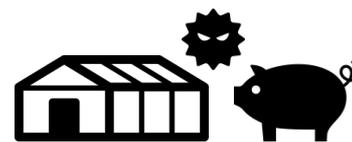


治水-利水-環境

河川維持管理



鳥獣被害対策



豚熱感染対策
含む

1. 取り組みの経緯

イノシシ被害の増加（H20年代）

- ・ 山間部の農作物の被害 ⇒ 市街地での出沒被害
- ・ 河川内での被害 }
 - ・ イノシシ目撃情報、被害情報
 - ・ 堤防法面の掘り起こし被害



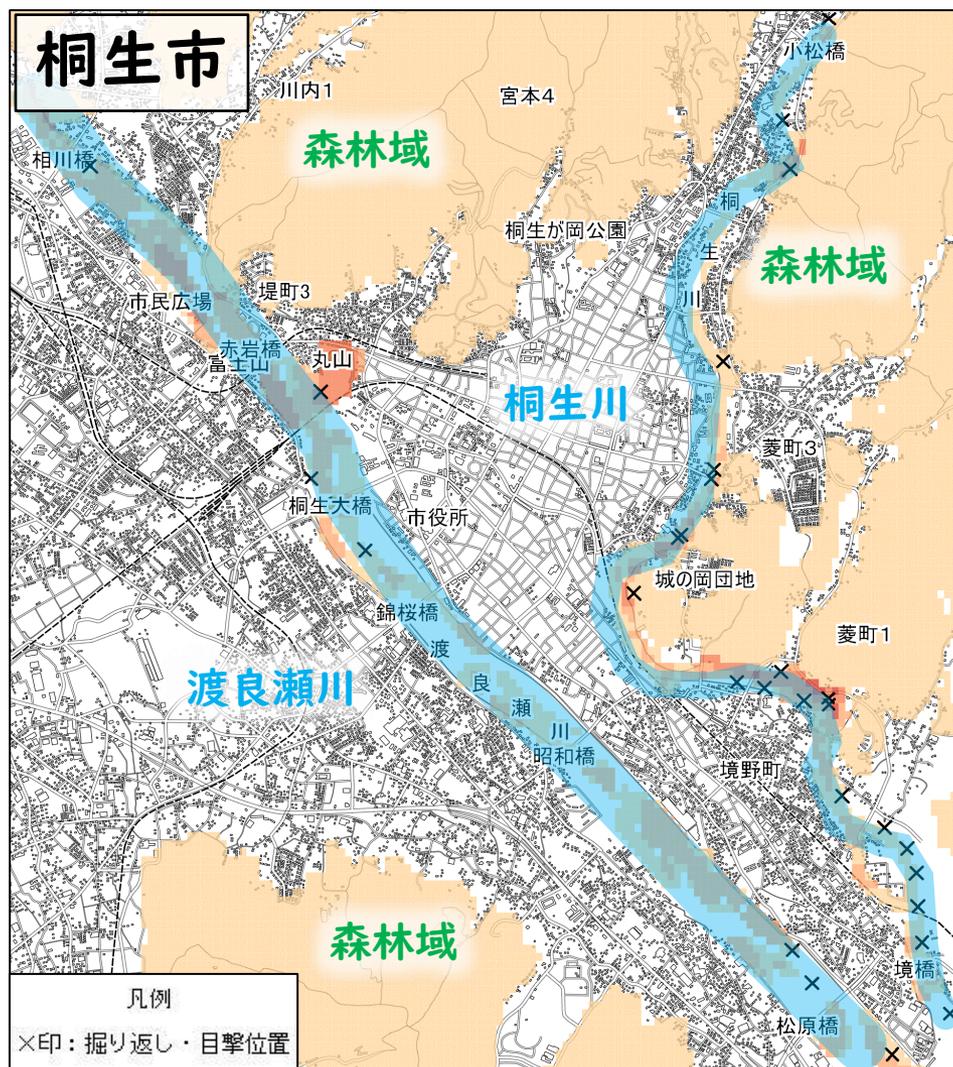
河川内で確認された親子イノシシ



荒らされた堤防法面

1. 取り組みの経緯

関係者連携のもと研究実施 (~H24.3)



@森林域・河川域

- ・目撃情報
- ・被害状況
- ・捕獲情報
- ・撮影頻度 など

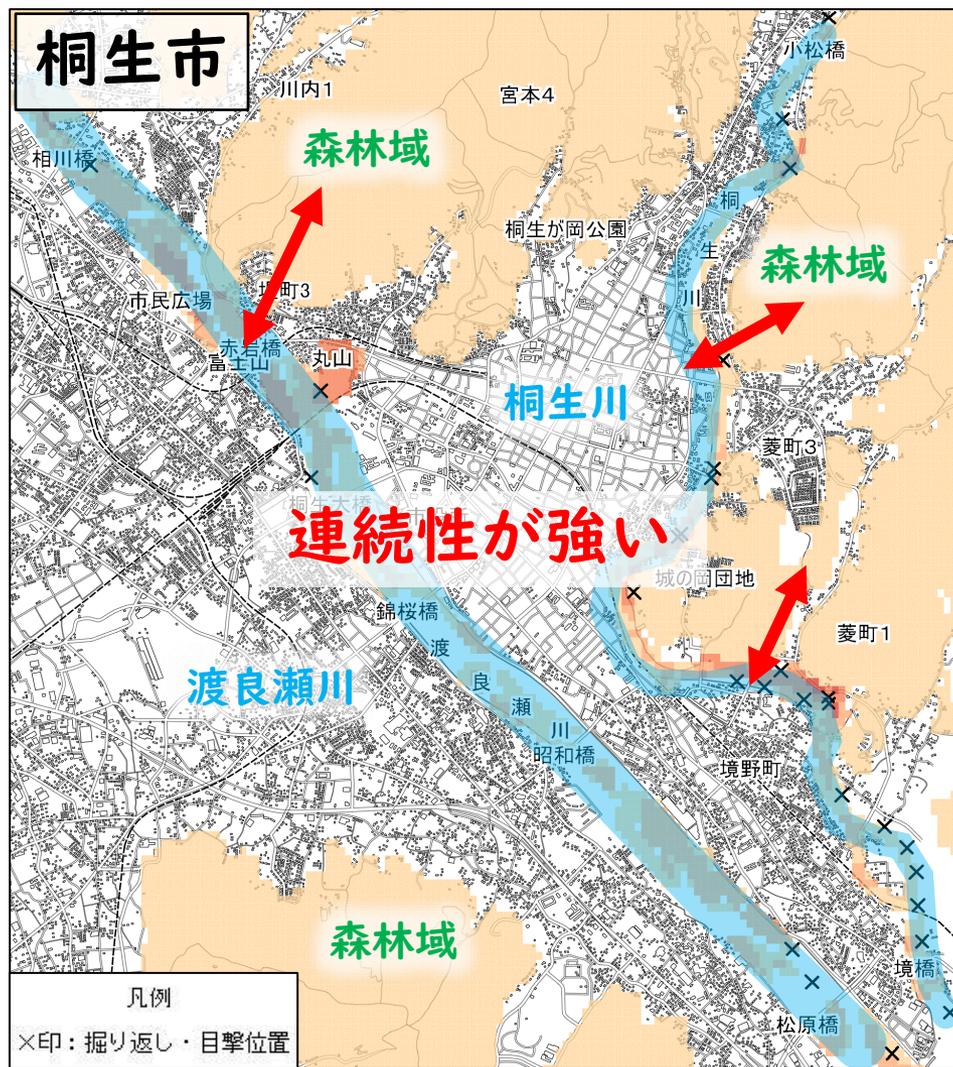
⇒分析を実施



『市街地における野生動物の拡散に関する研究』報告書
(平成24年3月群馬県林業試験場)

1. 取り組みの経緯

研究結果 (H24.3)



野生動物生息の好条件

水 + エサ + 隠れ家



藪・高木で繁茂した河川内



◎ 繁殖・生育・移動経路

森林域 < 河川域

『市街地における野生動物の拡散に関する研究』報告書
(平成24年3月群馬県林業試験場)

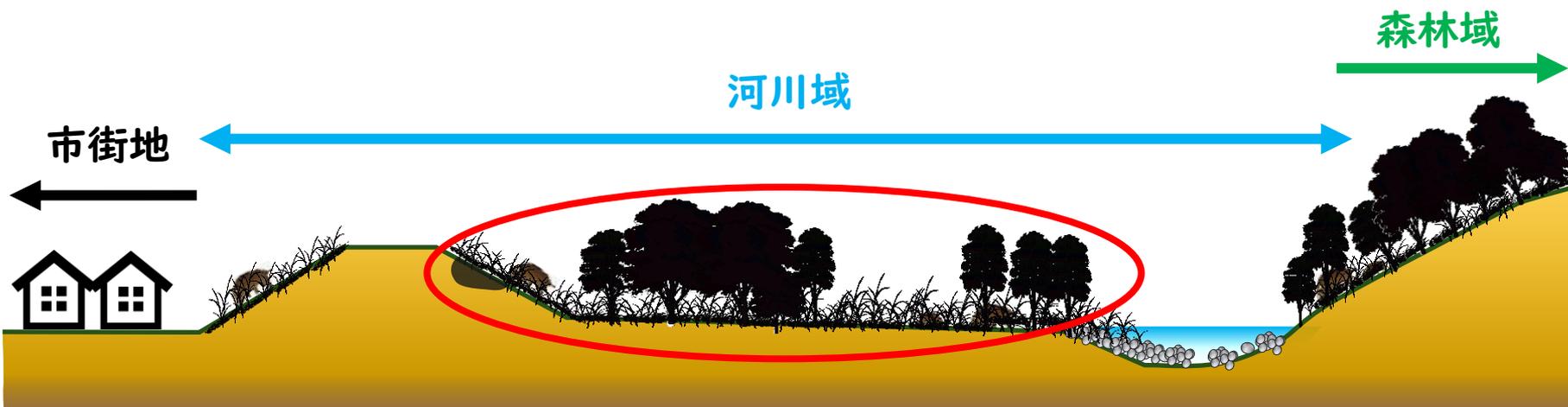
1. 取り組みの経緯

研究結果を踏まえて

河川域の隠れ家と移動経路の遮断



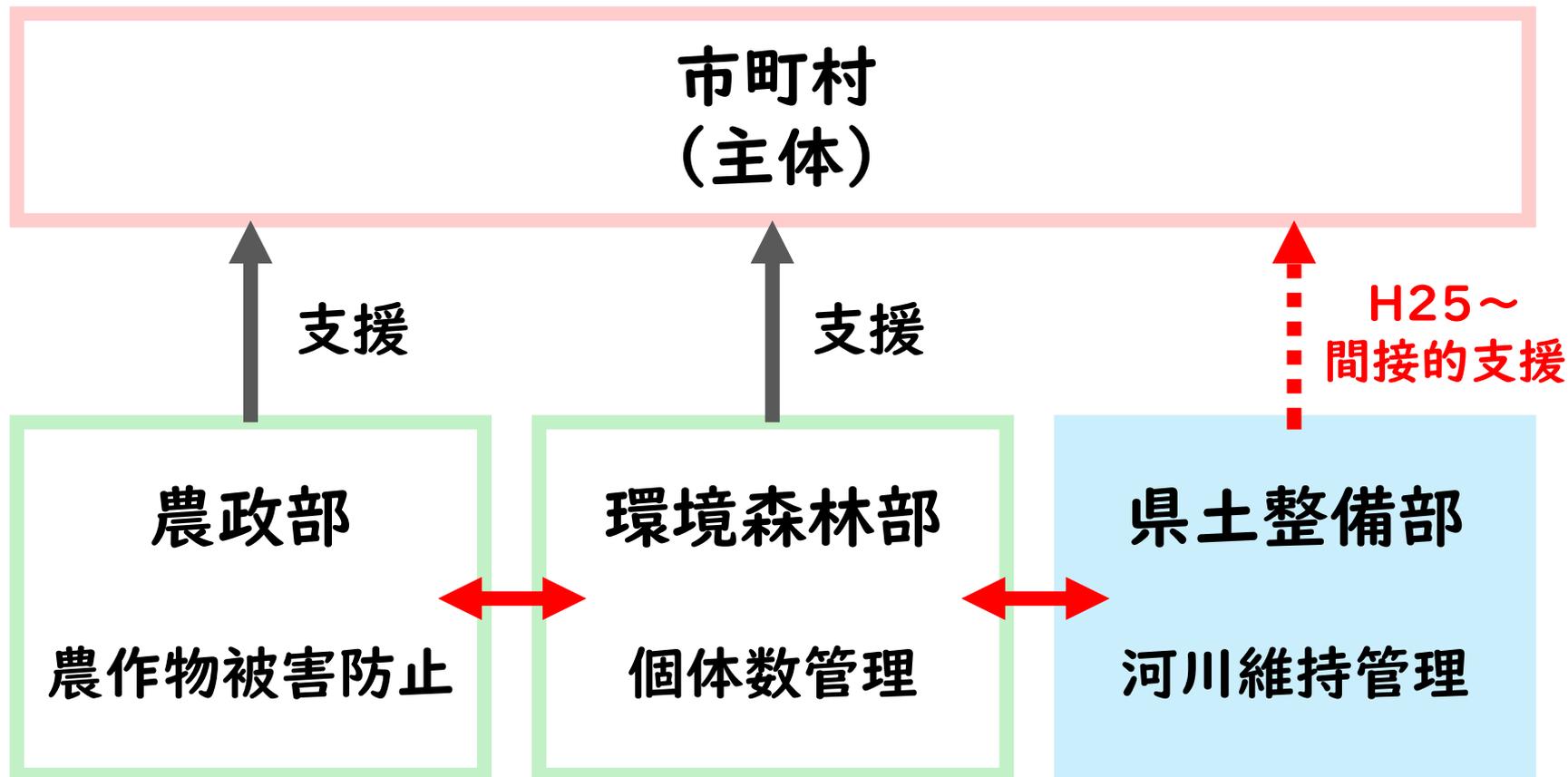
市街地への被害減少



河川内伐木除草

1. 取り組みの経緯

群馬県の鳥獣被害対策支援体制



H25～部局横断して連携

1. 取り組みの経緯

県土整備部での鳥獣被害対策

H25～（河川課予算）

鳥獣被害対策



+ R4～（農政部予算）

豚熱感染拡大対策



「群馬県 鳥獣被害対策本部」

H26～ 構成委員として取組報告・情報共有



2. 鳥獣被害対策

I期：H25年度～H28年度

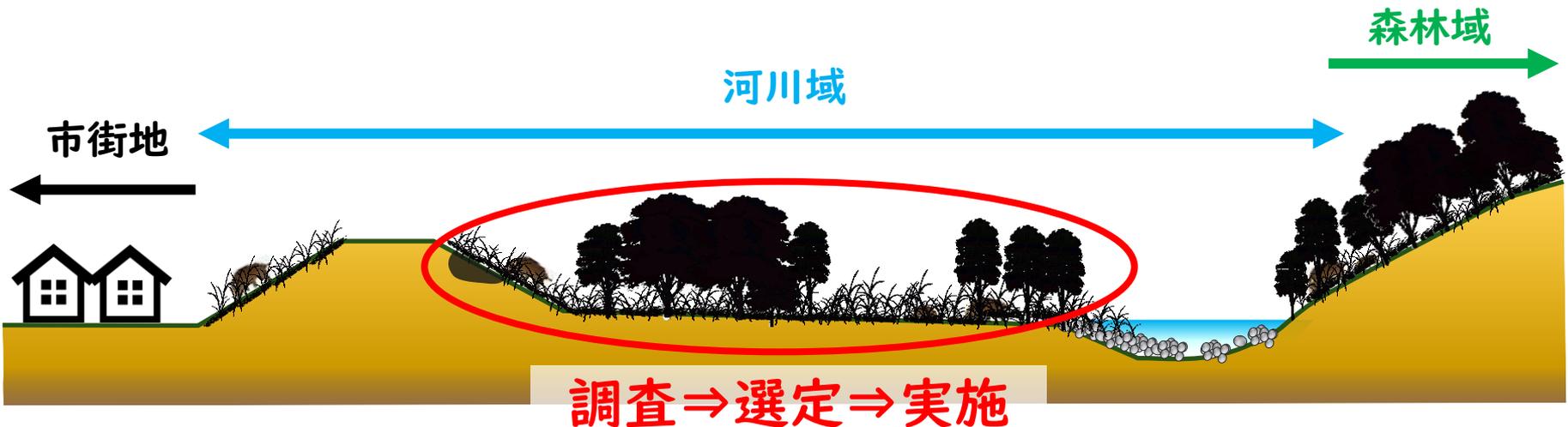
伐木箇所の選定 (※)

(1) 地元要望 + (2) イノシシが好む河川環境

➔ このうち優先区域 {

- ・ 野生鳥獣の捕獲数が多い区域
- ・ 狩猟が制限されている区域

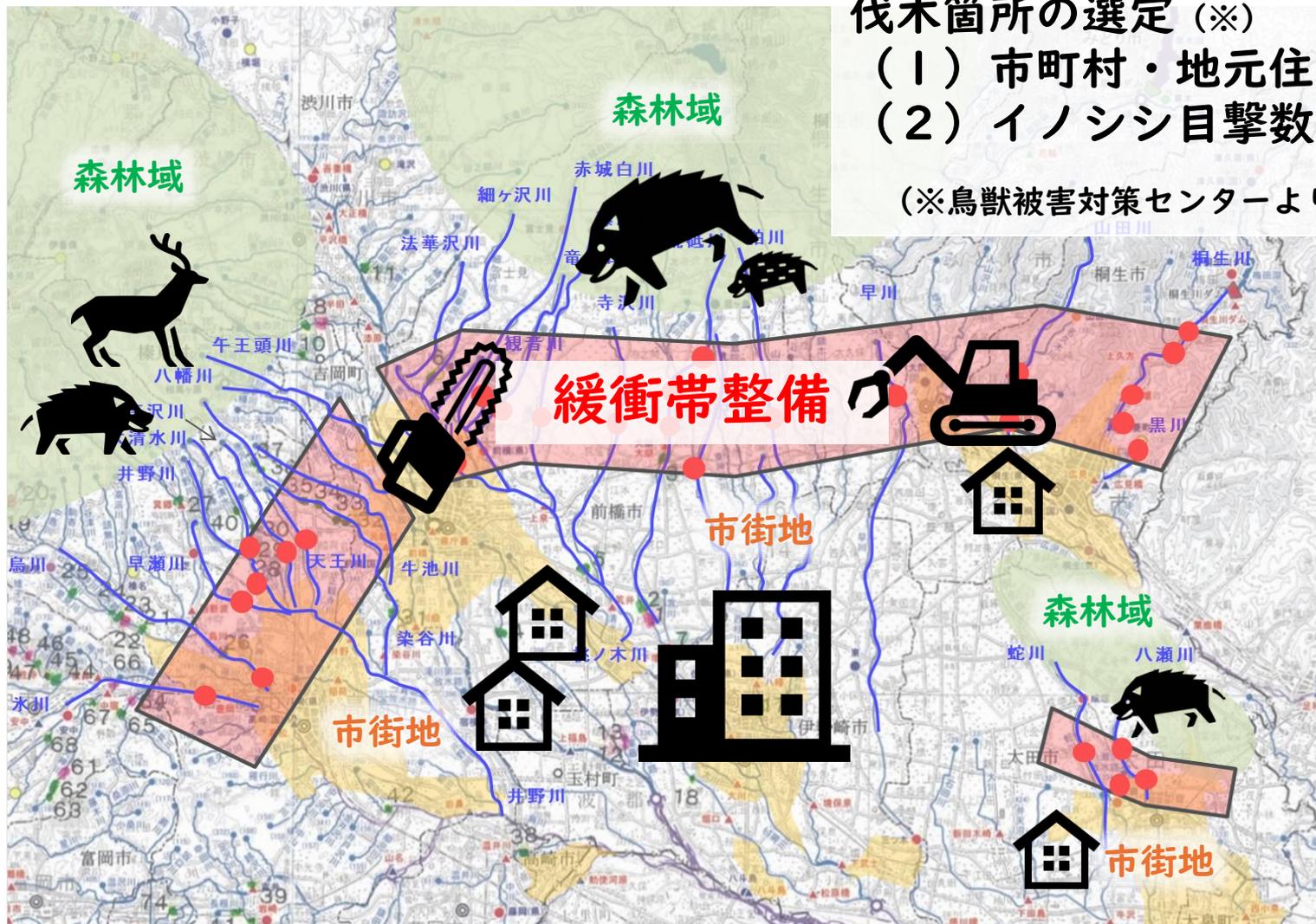
}



(※林業試験場、鳥獣被害対策支援センターより助言)

2. 鳥獣被害対策

Ⅱ期：H29年度～（毎年）



伐木箇所の選定 (※)

- (1) 市町村・地元住民要望
- (2) イノシシ目撃数メッシュ

(※鳥獣被害対策センターより助言)

2. 鳥獣被害対策

整備状況写真



烏川（高崎市倉渕町）



河川内伐木・刈払い 整備前

整備後

発知川（沼田市）

2. 鳥獣被害対策

工事实施時の配慮事項

治水

- ・ 流下能力の確保
- ・ 護岸の保護
- ・ 家屋への被害リスク



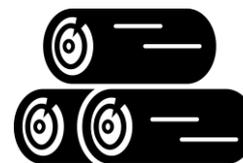
環境

- ・ 希少野生動植物の保護
- ・ 漁協組合との事前打合せ



コスト

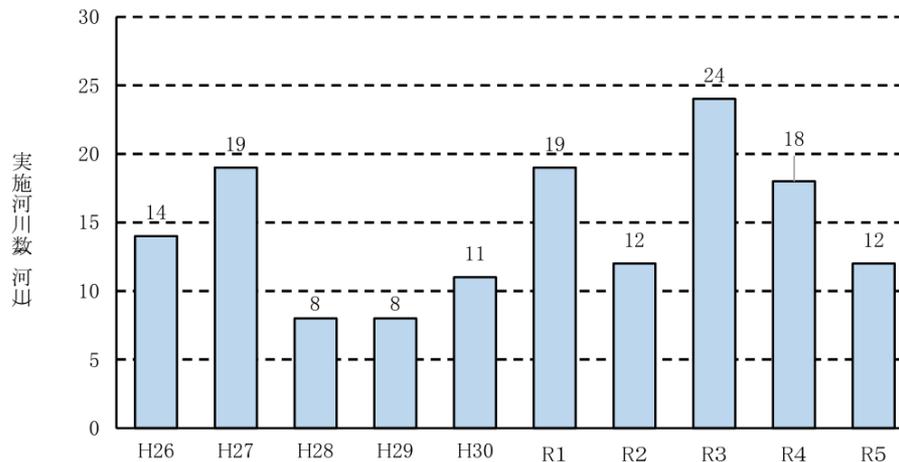
- ・ 伐採木の無償配布



2. 鳥獣被害対策

対策河川数の推移 (H26~R6)

対策河川数



対策箇所数

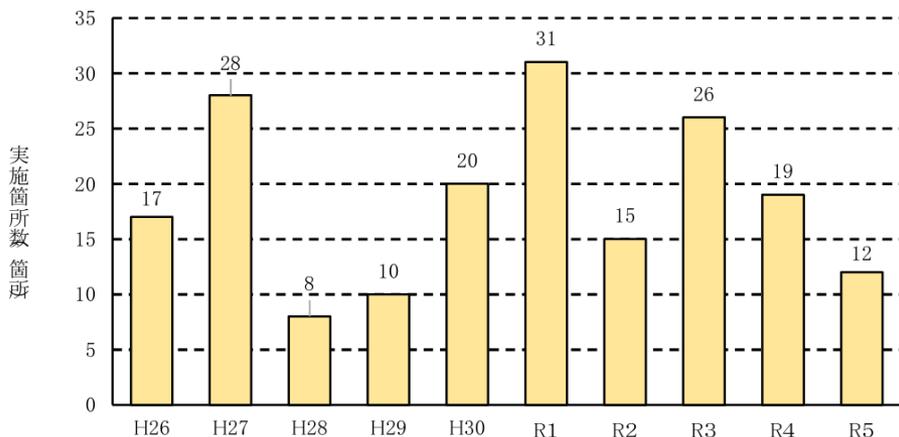


図9 河川における鳥獣被害防止の伐木・刈払い 実施箇所
出典:河川課

2. 鳥獣被害対策

農業被害の推移 (H22~R5)

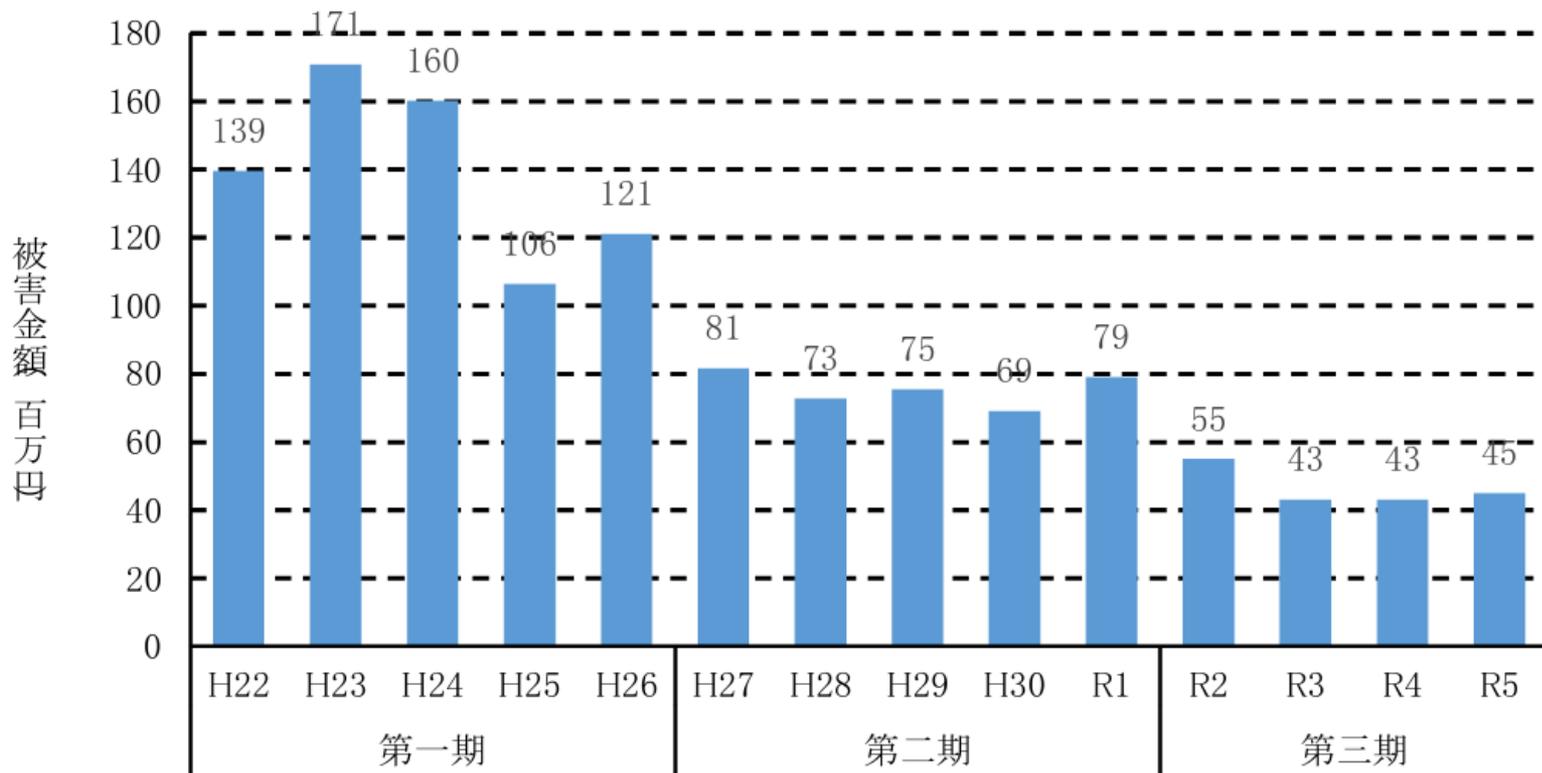


図1 イノシシによる年度別農業被害額

出典: 蚕糸特産課

3. 豚熱感染対策

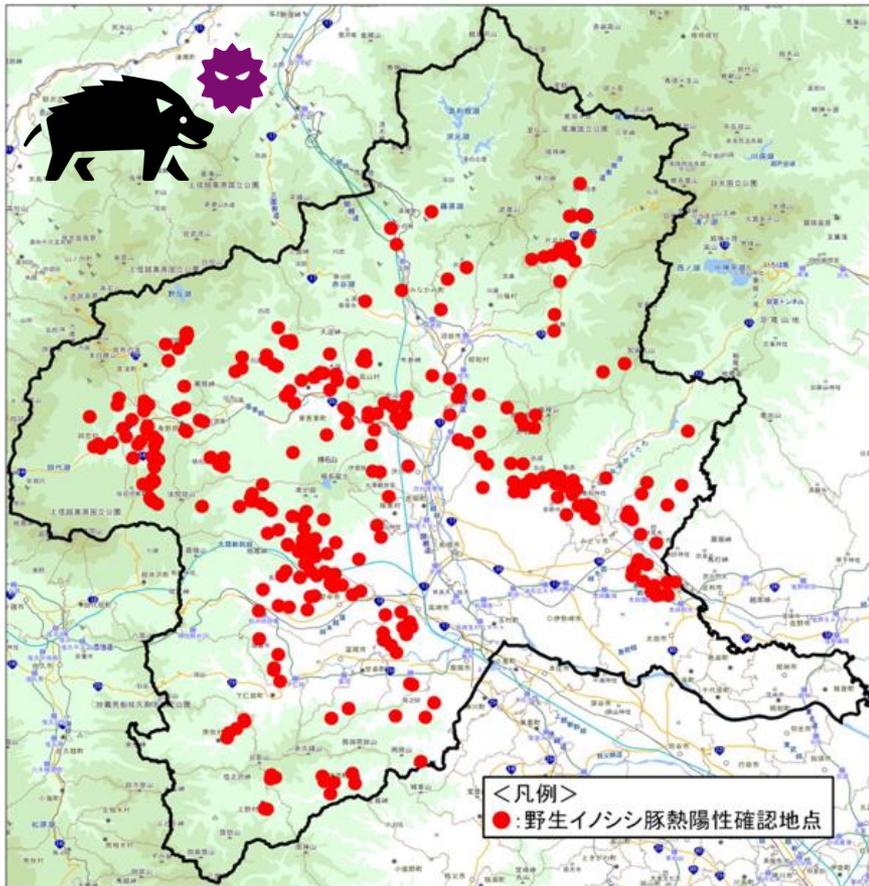
豚熱陽性イノシシの増加 (R1~)

群馬県 養豚
飼養頭数
全国4位 

(2) イノシシにおける豚熱陽性の感染状況

検査期間：令和元年10月～令和6年12月

総検査数：5,914頭 うち陽性確認数：352頭



県内養豚場での感染

令和2年9月：高崎市 1例目

～

令和7年5月：前橋市 13例目



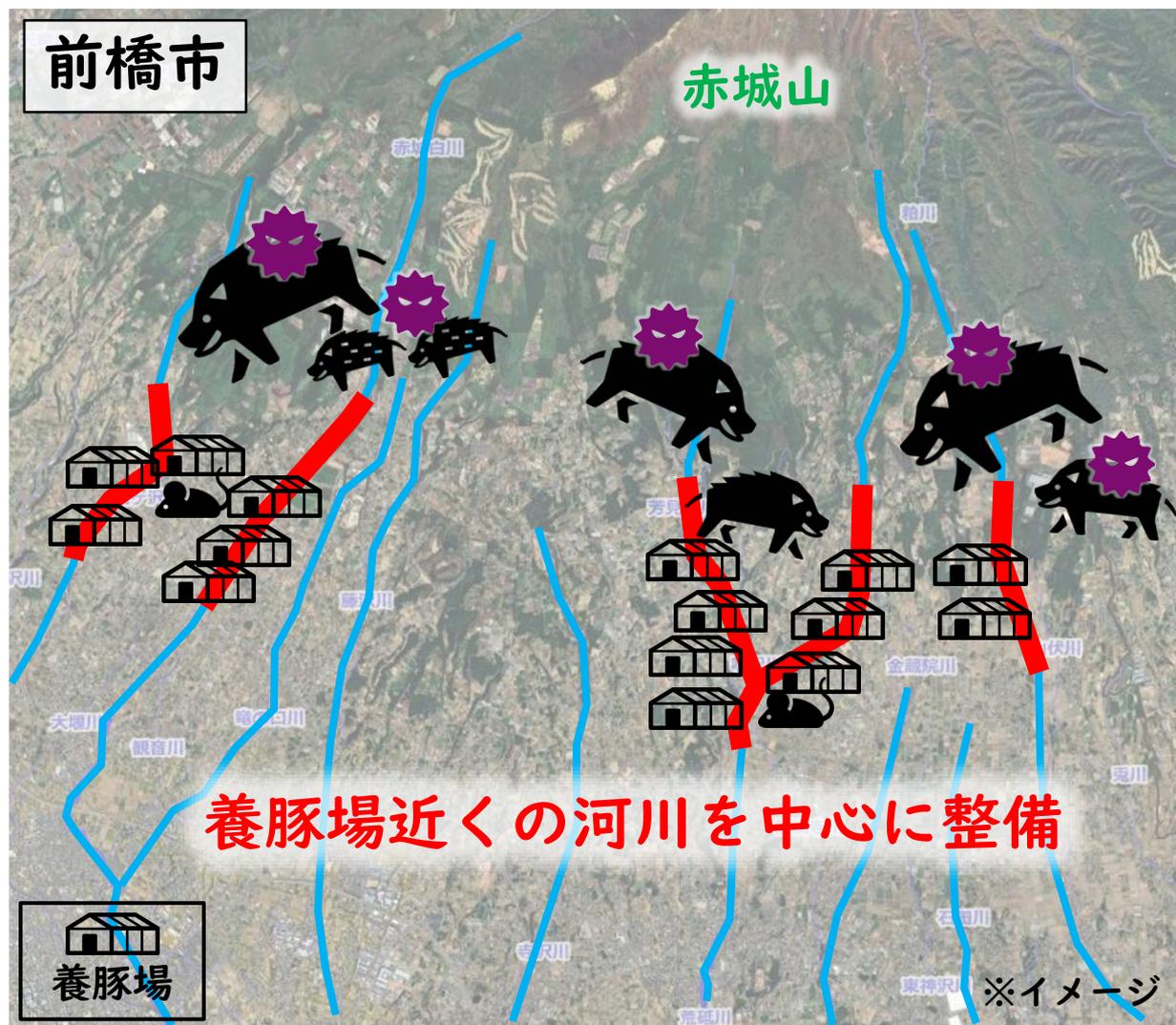
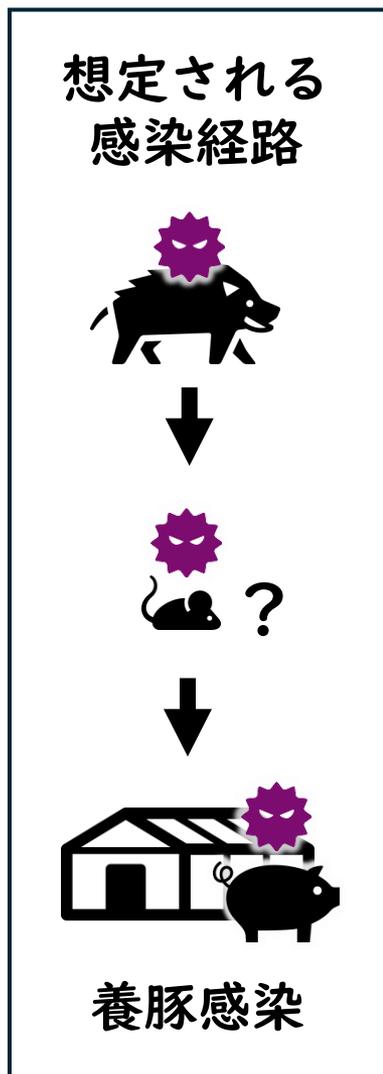
図23 イノシシにおける豚熱陽性確認地点(平成元年10月～令和6年12月)

出典：農政課家畜防疫対策室

← 出典：群馬県イノシシ適正管理計画
(第二種特定鳥獣管理計画・第四期計画)

3. 豚熱感染対策

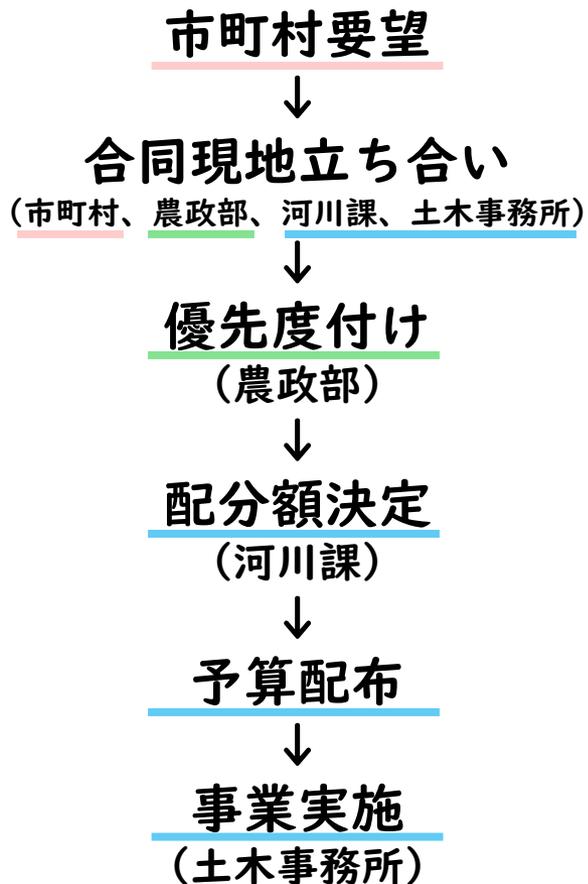
豚熱感染対策としての整備 (R4～農政部予算)



3. 豚熱感染対策

実施状況 (R4～毎年)

事業実施までの流れ



要望箇所にて

- ・鳥獣被害状況
- ・整備可能範囲

などを情報共有

■事業実施箇所

4市16河川 (前橋市、高崎市、伊勢崎市、桐生市)



河川内緩衝帯 整備前



整備後

赤城白川 (前橋市)

4. 緩衝帯整備の効果

調査内容 (R3~R6: 鳥獣被害対策支援センター)



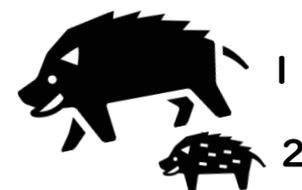
実施後

実施前

写真2 荒砥川工事実施前後



R3.8~
赤外線カメラを
設置 (動画)



1
2
個数・頻度を
カウント

『赤外線カメラによる河川内緩衝帯整備の効果評価』
(群馬県鳥獣被害対策支援センター)

4. 緩衝帯整備の効果

調査結果① (R3~R6)

- ・ 整備後に出没頻度が減少した
- ・ 利用抑制効果は約12ヶ月継続



写真4 荒砥川1

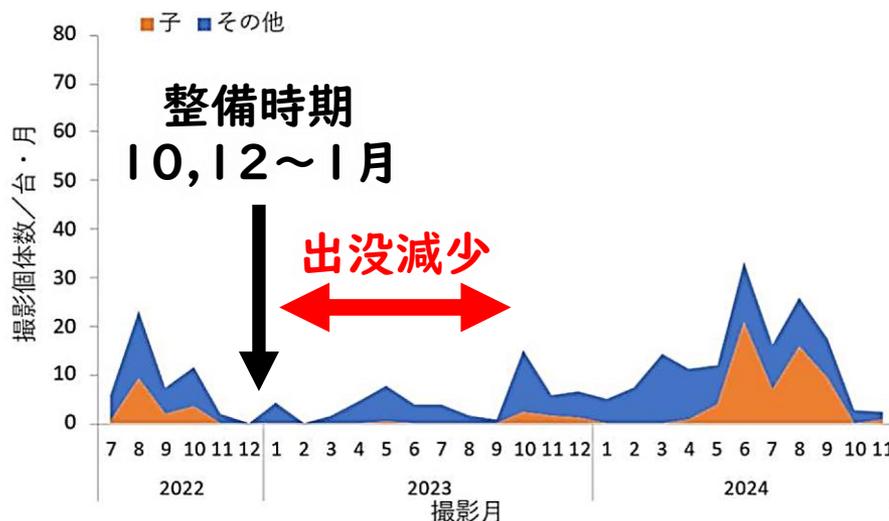


図20 荒砥川全カメラ (イノシシ内訳)

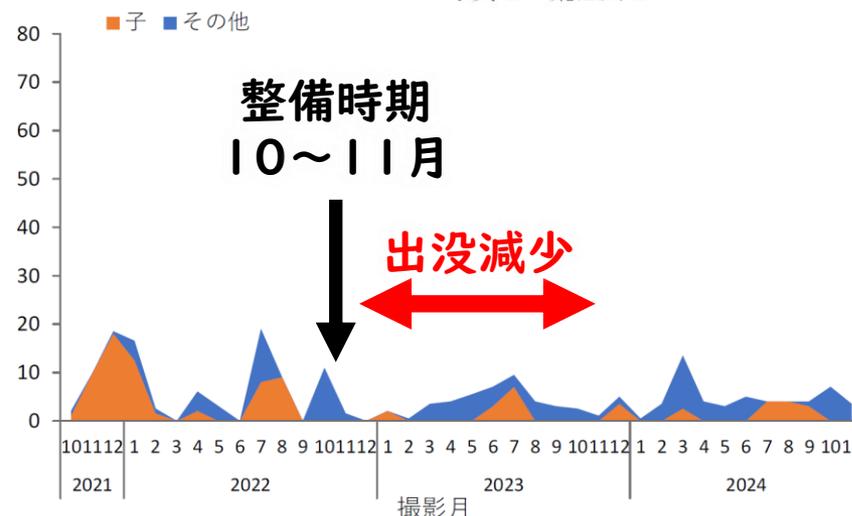


図7 粕川全カメラ (イノシシ内訳)

4. 緩衝帯整備の効果

調査結果② (R3~R6)

河川内外の林帯が残っていると
出沒抑制効果は期待できない

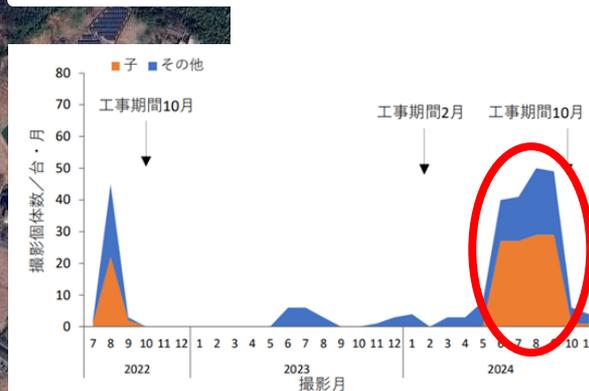


図 16 荒砥川 1 (イノシシ内訳)

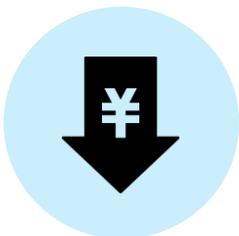
河川沿いの林帯に残存する
個体の出産により個体数増加

『赤外線カメラによる河川内緩衝帯整備の効果評価』
(群馬県鳥獣被害対策支援センター)

5. 今後の課題



自然環境・生態系へ配慮した整備



コスト縮減と整備効果の維持



河川内緩衝帯 整備前



整備後



有害鳥獣以外の
生息場所も減少

赤城白川（前橋市）

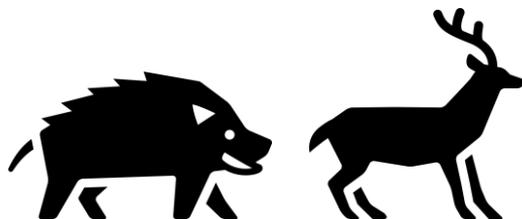
5. 今後の課題

【まとめ】河川管理者として

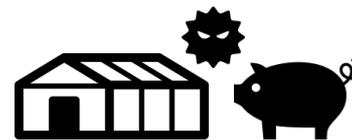


治水-利水-環境

河川維持管理



鳥獣被害対策



豚熱感染対策
含む



ご清聴ありがとうございました



「鳥獣被害対策のための河川内伐木について」
群馬県 県土整備部 河川課 長澤くるみ

(関係部局)

- 群馬県農政部
- 群馬県鳥獣被害対策支援センター